

「病気になっても住みなれた家で過ごす」

シナリオ

<伝えたいこと>

- *介護保険をどんな時に使うか、知ってもらうこと
- *在宅医療と介護のサービスにはどんなものがあるか、紹介すること
- *困ったことに対する解決策を多職種で支援する、というメッセージを伝えること

<脚本> 平松 裕子

<演出> 志真 泰夫

<配役 キャスト>

- 1.利用者：東 一郎さん （ 藤田 慎一 ） 76 歳（男性 高血圧、糖尿病にて通院加療中）
- 2.妻 ： ちよさん （ 倉持 あすか ） 72 歳
- 3.近所の人：谷田部さん （ 瀧口 和代 ） 70 歳
- 4.CM ：石下さん （ 宮本 昌樹 ） 40 歳
- 5.訪問診療医：春日医師 （ 庄司 和功 ） 58 歳
- 6.訪問看護師：北条さん （ 真柄 和代 ） 40 歳
- 7.訪問リハビリ：竹園さん（ 三浦 祐司 ） 35 歳
- 8.松代福祉サービス：並木さん（ 台 龍明 ） 55 歳
- 9.ナレーション： （ 平松 裕子 ）

***志真先生のご挨拶の後、音楽「あまちゃんのオープニングテーマ」スタート。会場を暗くする。プロジェクターを開け1枚目のパワーポイントを映す。少し間（50秒）をおいて音楽を絞る。BGMあり。パワーポイント②に替え、ナレーション開始。ナレーション終了と同時に音楽も終了。**

シーン1 3分間 <登場人物>	場面 設定	近所の谷田部さんが遊びに来る。一郎さんが寝たきりになって困っている、とちよさんが愚痴をこぼす。谷田部さんは親の介護のために介護保険を利用したことがあり、ちよさんに介護保険の利用を勧める。 パワーポイント②「東家の台所 ちよさん、愚痴る」	・小テーブル 1台 ・椅子 2脚
○利用者の妻 ちよさん ○近所の方 谷田部さん		ナレーション：ここは、東家の台所です。東家は、東 一郎さんと妻のちよさんの二人暮らし。二人の子供は独立しており、長女はつくば市、長男は常総市にお住まいです。一郎さんは普段、糖尿病と高血圧でかかりつけ医の春日クリニックに通っています。 最近、玄関でひどく転んでしまいました。ここ1週間くらいトイレに行く以外は、動かず寝ていることが多くなっています。筑波メディカルセンター病院には長女が付き添って、整形外科に1度受診しました。「腰の骨が折れていて、背骨の神経も細くなっている。」と言われました。整形外科の医師からはコル	

		セットを作るようにと勧められ、痛み止めと湿布をもらって帰って来ました。そんなところに、近所の谷田部さんが遊びに来ました。 *ナレーションが終わる。プロジェクターを閉める。照明は暗いまま、ちよさん、谷田部さん登壇。登壇後、照明を点ける。 ちよさん：いや、困ったよ。うちのじいさん、1週間くらい前かな、畑に行こうとしたら玄関で転んで動けなくなっちゃたんだよ。メディカルにかかったんだけど、骨がつぶれたって言われて・・・動けなくては困るから入院させてくれって言っただけど、家で休むようにって言われてよ・・・痛み止めと湿布だけもらって帰ってきたんだ。 谷田部さん：なんだ、入院できなかったのかい。メディカルにはなかなか入院さしてもらえないんだよな。 ちよさん：そうなんだよ。そしたら動けなくなっちゃって、寝てばかりいるんだ。おむつは嫌だからって、トイレだけはようやく行ってるけどな。私も歳だし腰も痛いし無理できないんだけどよ。どうしたらよかつぺ。 谷田部さん：んだよな。たいへんだな。そういえばよ、うちのおばあさんが寝たきりになったときは介護保険使って、ヘルパーさんとかに来てもらったんだよ。あのときはちよさんにも世話になったな。 ちよさん：んなことねえよ。 谷田部さん：ヘルパーさんにいろいろやってもらって助かったどなー。介護保険料も払ってんだからこんな時に使わないとな。役所に聞いてみるな。 *照明を暗くする。ちよさん、谷田部さん降壇。降壇後、プロジェクターを開ける。パワーポイント③を映す。ナレーション開始。	
シーン 2 1 分間 <登場人物> ○利用者の妻 ちよさん ○近所の方 谷田部さん	場面 設定	1 週間後の東家の台所。谷田部さんが遊びに来ています。 パワーポイント③「^{あずま}東家の台所 それから 1 週間後」 ナレーション：ちよさんはさっそく娘さんに相談して、市役所の窓口に連れて行ってもらい、要介護認定の申請をしました。市役所の担当者からケアマネジャーの事業所一覧表を渡されました。ちよさんは一覧表をみてもどうしたらよいか分からず、谷田部さんに相談します。 *ナレーションが終わる。プロジェクターを閉める。照明を暗いままで、ちよさん、谷田部さん登壇。登壇後、照明を点ける。 ちよさん：谷田部さん、役所に行ってきたよ。そしたらケアマネジャーは自分で探すようにって言われて、この紙をもらったんだけど、どうしたらいいんだか。	・小テーブル 1 台 ・椅子 2 脚 つくば市居 宅事業所一 覧表を用意 する

		谷田部さん：そうだな。ほんとは役所でケアマネジャーを紹介してもらえると良いけどな。 ちよさん：そうなんだよ。この紙だけではどこに頼んだらいいのかわかんなくてな。ケアマネジャーさんも何やってくれるのかな？ 谷田部さん：おばあさんのときは「ふれあい」さんってところに頼んだんだよ。困った時はなーんでもケアマネジャーさんに聞いたよ。ケアマネジャーさんはヘルパーさんをよこしたりベッドとか手配してくれるんだ。 ちよさん：そーなんだ。どうせお願いするんだったら、よおく話を聞いてくれる人がいいんだよな。 谷田部さん：大丈夫だよ、ちよさん。「ふれあい」のケアマネジャーさんはよくやってくれたから。そこに電話かけてみたらよかつぺ。 ちよさん：そうか、ふれあいさんか。さっそく電話してみるっか。 *照明を暗くする。ちよさん、谷田部さん降壇。 降壇後、プロジェクターを開ける。パワーポイント④を映す。 ナレーション開始。	
シーン 3 5分間 <登場人物> ○利用者 東さん ○利用者の妻 ちよさん ○CM 石下さん	場面 設定	ケアマネジャーの石下さんが東さんの家に来て介護サービスの話をする。 パワーポイント④「東家の居間 ケアマネジャーがやってくる」	・小テーブル 1台 ・椅子 3脚
		ナレーション：ちよさんは谷田部さんが勧めてくれた「ふれあい居宅介護支援事業所」に電話をかけました。そして、ケアマネジャーの石下さんが家に来てくれることになりました。 *ナレーションが終わる。プロジェクターを閉める。照明を暗いままで、椅子を1脚追加する。 一郎さん、ちよさん、石下さん登壇。 登壇後、照明を点ける。 CM：はじめまして、東さん。ふれあい居宅介護支援事業所の石下です。昨日はお電話をありがとうございました。 ちよさん：こちらこそよろしくお願いします。 CM：私はケアマネジャーといって、ご自宅で介護保険を利用される方のサービスの調整や困ったことの相談をお受けしています。 玄関で転んでから動けなくなっていると伺ったのですが、東さん、痛みはどうですか？ 一郎さん：少しの間なら座ってられるけど痛いな。動くときはおっかあに手伝ってもらわないとなーんにもできないんだ。トイレだけはようやと行ってるよ。 CM：それは辛いですね。痛みが強いようですが、ごはんは食べられていますか？	

ちよさん：それが、転んでからあんまり食べられないんだよ。糖尿病で薬も飲んでんだけど低血糖にでもなられたら困っちゃうんだよな。

CM：そうだったんですか。奥さんがおっしゃるとおり低血糖は怖いですからね。奥さんも介護が大変じゃないですか？

ちよさん：そうなんだよ。わたしは腰が痛くて、じいさんを動かすのがたいへんなんだよ。介護なんてやったことなくて。

CM：奥さん一人ではたいへんですね。

ちよさん：そうなんだよ。この様子なら介護保険は使わせてもらえんのかな。

CM：大丈夫です、介護保険を利用することはできますよ。お手伝いしますね。痛みがもう少し楽になるといいですが、どなたか先生にご相談されていますか。

ちよさん：近所の春日先生のとこにずーっとかかっているんだ。転んでからは先生のところに行けなくなっちゃってな。

CM：そうでしたか。先生にご相談できると安心ですよ。

ちよさん：そうなんだよ。でも、春日先生のとこまでは連れて行けないしな。

CM：そうですね。この痛みでは通院は難しいですよ。春日先生は往診しているかどうかご存知ですか？

ちよさん：わがんねな。

CM：そしたら、春日先生に往診できるか相談してはいかがですか。もし春日先生が往診できないのであれば、訪問診療や往診を専門にしている先生もいらっしゃるから。

ちよさん：そうだな。ずーと診てもらってる春日先生がいいしな。今日、早速先生に聞いてみるよ。

CM：わかりました。春日先生が往診できるかどうかわかったら教えて下さいね。それから、体の調子を看てもらったり、心配ごとを相談できる訪問看護というサービスもあります。

ちよさん：へえ、そんなサービスもあるんだ。

CM：お二人暮らしですので、これからはいろいろとご心配なことがあると思います。

一郎さん：そうなんだよ。心配だよ。

CM：ご自宅に看護師さんに来てもらうと安心ですよ。

ちよさん：そうだな。二人で心配ばかりしてるから看護師さんに来てもらえるといいな。

CM：わかりました。それから、動けないままですと寝たきりになってしまいますので、リハビリの方に来てもらって、少しずつ歩く練習をしていくのはいかがでしょうか。

一郎さん：リハビリの人も家に来てくれんのかい。

CM：はい。

一郎さん：いやいやいろんなサービスがあるんだな。寝たきりにはまだなりた

		くないからな。お願いするか。 ちよさん: そんだな。寝たきりになったら施設に入ってもらうしかないからな。 CM: それではリハビリも利用して、がんばって歩く練習をしましょうね。 春日先生が往診をして下さるようでしたら、奥さんから春日先生に訪問看護とリハビリを利用したいと伝えていただけますか。 ちよさん: あーわかったよ。 CM: それから今はお布団で横になっっていますか？ 一郎さん: そうだよ。トイレさ、行くときは這ってゆくからいいけど、布団じゃ寝るのも起きるのも大変でな。 CM: そうですよ。お布団では大変だと思います。介護保険を使って、ベッドを借りることができますよ。 一郎さん: ほー介護保険でベッドも借りれるのかい。 CM: はい、そうなんです。 一郎さん: ベッドを買いたいと思ってたんだよ。借りられるなら、そのほうがいいな。高いのか？ CM: ベッド本体にマット、それに両側に手すりが付いて、だいたい1か月1500円位です。 ちよさん: そんならいなら年金で払えるから大丈夫だな。んじゃ、じいさん、ベッド借りつか。 一郎さん: んだな。 *照明を暗くする。一郎さん、ちよさん、石下さんは左側に降壇。 降壇後、プロジェクターを開け、パワーポイント⑤を映す。 ナレーション開始。	
シーン4 6分間	場面 設定	東家の食堂に一郎さん、ちよさん、石下さん、春日医師、北条さん、竹園さん、並木さんが集まる。 パワーポイント⑤「東家の居間 サービス担当者会議はじまる」	椅子7脚
<登場人物> ○東さん ○ちよさん ○CM 石下さん ○かかりつけ 医 春日医師 ○訪問看護師 北条さん ○訪問リハ 竹園さん		ナレーション: ケアマネジャーの石下さんは早速サービスの調整を始めました。訪問看護師の北条さん、訪問リハビリの担当で理学療法士の竹園さん、松代福祉サービスの並木さんに連絡して、集まってもらいました。かかりつけ医の春日先生にも連絡しました。先生は、時々往診ならできるということで、お願いしました。そして、一郎さんの家に関係者が集まり顔合わせを行うことにしました。 *ナレーションが終わる。プロジェクターを閉める。照明を暗いままで、 テーブルを片付ける。壇上の椅子3脚を正面より左側に設置する。 左側から一郎さん、ちよさん、石下さん登壇。 右側から椅子を持って、並木さん、北条さん、竹園さん、春日先生登壇。 登壇後、照明を点ける。	

○レンタル 並木さん	CM：東さん、奥さんこんにちは。今日は春日先生の初めての往診ですね。先生の診察に合わせて、東さんをこれから担当するみなさんに来ていただきました。顔合わせとどのようなお手伝いを行うのかなど、役割も含めてお話しを進めていきます。 まずは東さんと奥さんが、今、おうちで困っていることや、手伝ってもらいたいことをお話ししていただけますか。 一郎さん：腰が痛くて一人で動けないのが困っちゃんだよ。前みたいに畑に行くくらいにはなりて一な。 ちよさん：んだよな、畑くらい行けるようになってもらわないとな。あたしはじいさんを手伝ってやるんだけど下手だって、いっつも怒られるんだ。手伝ってもらえれば助かるよ。 CM：わかりました。 それではこれからみなさんがどのように関わっていくかお話ししていきます。初めに春日先生からお願いできますか。 春日先生：はい。春日クリニックの春日です。東さんは元々高血圧と糖尿病で診てます。今回は腰椎圧迫骨折ということで、往診させていただきますけど、外来の合間に来るようになるので、お昼過ぎぐらいかな。 一郎さん：先生悪いな。忙しいのに来てもらって。 春日先生：心配しなくても大丈夫ですよ。あんまり食べられないようなら、薬を調節していきますね。 CM：春日先生、ありがとうございました。それでは次に訪問看護師の北条さん、お願いします。 北条看護師：東さん、初めまして。訪問看護師の北条です。私たちは週に1回訪問します。血圧やお熱を測ったりして、からだの調子を看ていきます。24時間対応していますので、夜でも体調が悪くなった時には電話をしてください。お薬に関しても、春日先生に相談しながら確認します。最近、お風呂に入っていらっしゃらないということですので、体を拭いたり、髪も洗いましょうね。 それから、先生、緊急時のご連絡はどのようにしたらよろしいでしょうか。それと、血糖値ですが、私たちが訪問したときに測りましょうか。 春日先生：外来中だとすぐには電話に出られないかもしれませんが、あらかじめメールアドレスをお伝えしておきますね。夜間は私の携帯に直接連絡してください。あと、血糖の方は看護師さんをお願いしてもいいですか？ 北条看護師：わかりました。よろしくお願いします。 CM：北条さんありがとうございました。調子が悪い時にいつでも相談できると安心ですね。 一郎さん：安心だよな。よがったよがった。 CM：次にリハビリ担当の竹園さんお願いします。	
--------------------------	--	--

	竹園理学療法士：はい、わたしは理学療法士の竹園です。私も週に1回訪問してその日の調子に合わせてリハビリを行ないます。春日先生に相談しながら、東さんが歩けるようになるように支援していきます。東さんが動きやすいような環境作りや奥さんの介護の負担が軽くなるような介助の方法も考えていきます。春日先生、何か気を付けた方が良いことはありますか？ 春日先生：できるだけ動いてもらった方がいいと思いますが、痛みの状況を見ながら行ってください。 竹園理学療法士：わかりました。東さん、歩けるようになるようにお手伝いしますね。 一郎さん：よろしく頼むよ。 CM：東さん、頑張ってリハビリをしましょうね。 最後に昨日お会いしている並木さんからよろしいですか。 並木さん：はい、松代福祉サービスの並木です。昨日ベッドを納めましたが問題はありませんでしたか。寝心地は大丈夫でしたか。 一郎さん：大丈夫だ。久しぶりによーく眠れた。ベッドのおかげで動くのが楽になったよ。 並木さん：それは良かったです。 CM：みなさんありがとうございました。いろいろお話ししていただきましたが、東さん、奥さん、わからないことはありませんでしたか。 一郎さん：だいじょうぶだな。こんなにたくさんの人来てもらってありがたいよ。歩けるようになったら早く畑に行きたいな～。これからよろしく願います。 ちよさん：じいさんよかったな。みんなに来てもらえたら安心だ。すぐにでも歩けるようになるんじゃないか。みなさんよろしくお願いします。 CM：それではこれで話し合いを終わりにしたいと思います。これからこのチームで東さんと奥さんを応援していきます。何か困ったことがありましたらいつでも連絡くださいね。 ちよさん：あーそうさせてもらいます。 CM：それではよろしくお願いします。 *照明を暗くする。各自、椅子を持って登壇した側に下がる。 音楽「家族」をかける。プロジェクターを開ける。パワーポイント⑥を映す。 音楽開始から 30 秒くらいでナレーション開始。	
	パワーポイント⑥「在宅医療と介護がはじまりました・・・」	
	ナレーション：東さんの在宅医療と介護がスタートしました。からだの調子が悪い時には看護師の北条さんに相談し、その状況を北条さんから春日先生に相談してもらい、いろいろな心配事が解決できるようになりました。訪問リハビリの竹園さんが来て、少しずつ歩く練習を重ねて、家の中は歩くことができる	

		ようになりました。歩けるようになってきてから、浴室の出入り口に手すりをつけてもらい、シャワーチェアを購入して、北条さんの介助でシャワーができるようになりました。一郎さんとちよさんに笑顔が戻ってきました。 *パワーポイント⑦に替える。BGM。 パワーポイント⑦「一郎さんとちよさんの笑顔」 パワーポイント⑧⑨ 「配役」 音楽 2 分～2 分 30 秒で終了	
--	--	--	--

***拍手（拍手役を決めておく）**

パワーポイントはそのまま、照明を明るくして、全員登壇する。平松がキャストを紹介する。
全員でごあいさつ。

***クイズ「基本」のき開始**

クイズ司会者：宮本さん（司会者席に着く）

解答する方々は左右に分かれて座る。

クイズコーナーに入る。